

募集案内

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮市
Utsunomiya City

うつのみや 未来創造プロジェクト (みやプロ)

参加メンバーを募集します！

宇都宮市 総合政策部 政策審議室 共創推進室
令和7年7月2日

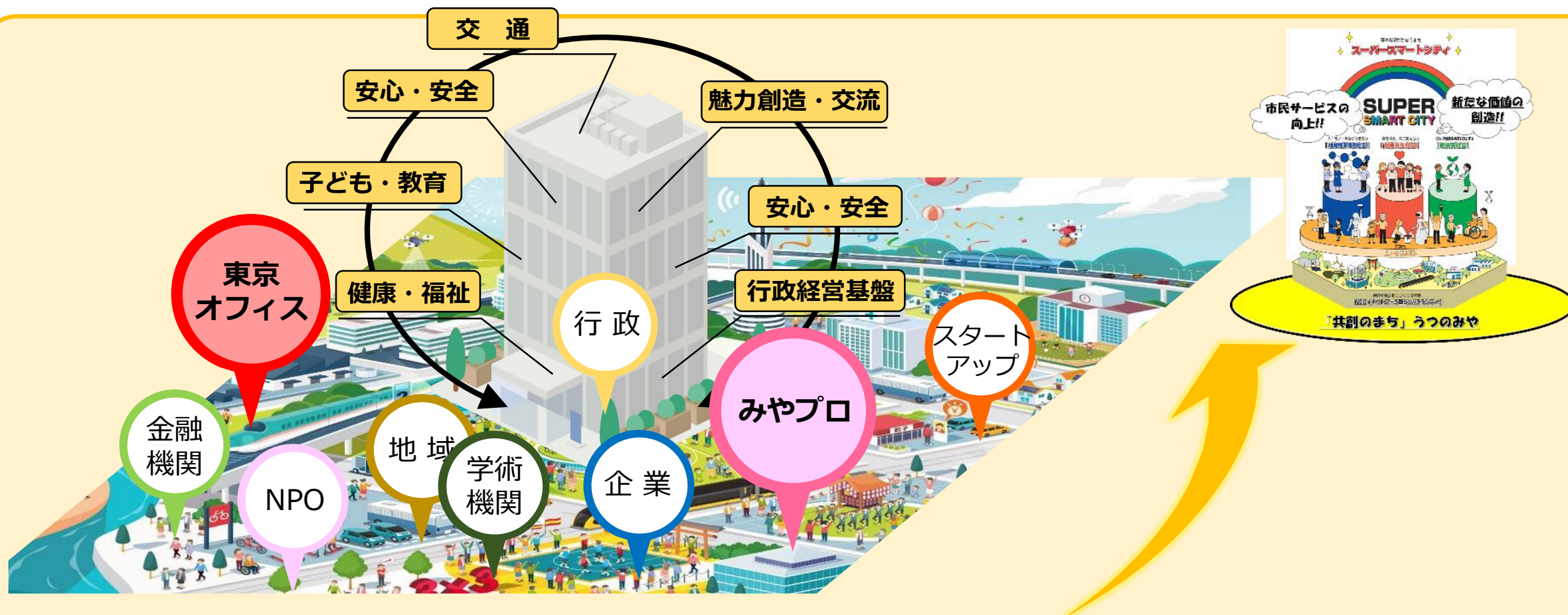


- 1.「共創のまちづくり」とは？
- 2.「みやプロ」とは？
- 3.令和6年度の実績
- 4.令和7年度の活動内容
- 5.テーマ型
- 6.募集要項



1.「共創のまちづくり」とは？

◆宇都宮市が目指す「共創」について(イメージ)



⇒ 市民・事業者・団体・行政など、まちづくりの主体が連携し、柔軟な発想や斬新なアイデアを取り入れながら、**"市民サービスの向上"**や**"新しい価値の創造"**を目指す

2.「みやプロ」とは？

「うつのみや未来創造プロジェクト(みやプロ)」は、宇都宮市における官民の若者による「共創のまちづくり」を推進するためのプラットフォームです。

⇒ 市民の皆様と宇都宮市若手職員とで「宇都宮市にあってほしい取組」の検討・提案を行い、具現化を目指していく官民共創の「交流・対話の場」です。

うつのみや未来創造プロジェクト(みやプロ)の活動理念

1.「真剣に楽しむ」

「夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』を実現するためには、皆様が「楽しい」、「やってみたい」と思える取組を進めることが重要であり、取組を検討するプロセスも同様であると考えます。

2.「失敗を恐れない」

「的外れなことを言ってしまうのでは」といった不安があるかもしれません。「みやプロ」では、どのようなアイデアでも歓迎します。

3.「仲間を集める」

アイデアの実現にあたっては、共に考え、共に活動する仲間が必要です。「みやプロ」が持つ「交流・対話の場」としての機能を最大限活用し、仲間づくりにつなげられると考えます。

2.「みやプロ」とは？

◆みやプロが目指すもの

宇都宮市を取り巻く環境の変化

複雑化・多様化する
市民ニーズへの対応

デジタル化の急速な進展

人口減少, 少子・超高齢化社会

脱炭素社会への移行



行政のみですべての
課題解決は困難！



課題解決のために、共創のまちづくり
への期待が高まる。

民間の若者の皆様と宇都宮市若手職員が、**若年世代ならではの、自由かつ柔軟な発想**による、「宇都宮市にあってほしい取組」の検討や具現化に向けた活動を実施



共創のまちづくりの推進
アイデアの具現化

宇都宮市が掲げる2030年頃のまちの姿「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、**夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』**の実現

3. 令和6年度の実績

令和6年度は、官民の若者(37名)が興味・関心のあるテーマに分かれ、6事業を導出しました。

【活動の流れ】

取組の検討

令和6年8月

キックオフ
ミーティング

- 思いの分かち合い
- やりたいことの共有



令和6年9月～令和6年12月

- ・ワークショップの開催(全3回)
- ・中間発表会
- ・イベントの開催

- グループの編成
- グループごとの取組検討
- 活動状況の共有



令和7年2月

成果発表会

- 導出した6つの取組の発信



各グループにおける調査・実証などの独自活動

3. 令和6年度の活動実績②

	テーマ(人数)	課題意識	導出した取組
1	子どもの学び (民間2名:市3名)	・人手不足 ・食材等の資源の確保 ・周知・広報の困難さ	・子ども食堂ワクワク計画～子ども食堂×地域共創プロジェクト～ ⇒ 子ども食堂活性化に向けたイベント開催 子ども食堂の情報を一元化する仕組 組織の検討
2	子どもの健全育成 ※R5から継続 (民間3名:市2名)	・子どもの習い事の送迎時間や待ち時間が親の負担 ・親と子どもが共に充実する仕組みが不足	・宮Base×子育て団体と連携した取組 ⇒ R5に実施した親子向けイベントを継続可能な仕組みの構築に向けた子育て世帯コミュニティ(宮Base)の創設 新たなイベント開催
3	地域コミュニティ (民間5名:市1名)	・一人暮らしが集まる場所がない ・頼れる人が周り・地域にいない	・宮とも愉快だ宇都宮～一人暮らしが気軽に集まれるコミュニティ作り～ ⇒ 一人暮らしの20～30代を対象とした新たなコミュニティ形成に向けた仕組みの検討 一人暮らしの若者向けイベントの開催
4	地域資源の活用 (民間6名:市2名)	・高校生の居場所がない	・地域資源を活用した高校生の居場所の創出について ⇒ オリオン通りに学生の居場所の創出に向けたイベントの開催 理想の宇都宮市の実現に向けた提言
5	スポーツ (民間2名:市2名)	・プロスポーツチームを気軽に応援できる機会・環境が少ない	・パブリックビューイング開催～スポーツによるまちの活性化 ⇒ 市民がスポーツをより身近に感じ, スポーツを介したコミュニティ形成や健康増進に向けたパブリックビューイングの開催
6	各種産業の強化 (民間3名:市6名)	・高齢化の進行・担い手不足 ・耕作地面積の減少	・SNSを活用した農家の魅力発信×支援講座の開催 ⇒ 農家が抱える課題(担い手不足等)の解決に向けたSNSを活用した情報発信の仕組みづくり(宮あぐり)

4. 令和7年度の活動内容

今年度から、「テーマ型」、「フリー型」を導入します。

テーマ型…今年度のテーマは

「女性活躍の推進」、「市制130周年記念事業」、「うるま市との連携事業」です。

フリー型…環境・子育てなど、様々な分野から自由に設定します。

成果発表会の上位チームには、市長に直接意見を伝える場を設けます。

開催スケジュール

令和7年8月
キックオフ
ミーティング

- 思いの分かち合い
- やりたいことの共有
- グループ編成

令和7年8月～令和7年12月

- ・ワークショップの開催(全3回)
- ・中間発表会
- ・イベントの開催
- グループごとの取組検討
- 活動状況の共有
- 活動状況の共有

令和8年3月
成果発表会

LINE WORKS等を活用した
オンラインミーティングでの
参加も可能です

※その他, 必要に応じてグループ活動(実践含む)を行います。

5. テーマ型

1 女性活躍の推進

本市は、令和7年度に「女性活躍推進課」を設置し、女性をはじめ、誰もが希望に沿って様々な分野に参画し、個々の能力を発揮しながらいきいきと活躍できるまち『女性活躍リーディングシティうつのみや』の実現に向け、あらゆる分野における男女間の格差是正や更なる参画・活躍を加速化するとともに、分野横断的に強力に推進することで、本市における女性活躍ムーブメントを創出しており、女性活躍の更なる推進に向け、本市にあってほしい取組を導出していただきます。

2 市制130周年記念

本市は、令和8年度に「市制130周年」を迎えます。本市への愛着や誇りの醸成、市民の一体感の強化を図る契機として、その前年となる今年度に「市制130周年記念」として、本市にあってほしい取組を導出していただきます。※市のテーマ設定や記念ロゴの作成等において、アンケート等にご協力いただく場合があります。

3 うるま市との連携

本市は、令和6年8月に沖縄県うるま市と友好都市の提携を結び、1周年の節目として、互いの資源や強みを提供し合うことで、本市の魅力の再発見・再認識するシビックプライド（住んでいるまちへの誇りや愛着）の醸成や市民間の交流による「人づくり」の充実、農作物・特産物の販路拡大等による地域経済の活性化など、連携したい取組について、導出していただきます。

6. 募集要項

1 応募条件(令和7年4月1日現在)

- ・ 概ね20歳から39歳までの方(原則, 宇都宮市に居住または通勤・通学している方)
- ・ 業務内外に関わらず, 宇都宮市のまちづくりや民間事業者やNPO団体, 行政等が連携した活動に興味がある方や活動実績がある方
＜活動の例＞ボランティア活動, 公共的組織の委員等としての活動, 自治会やNPO等のまちづくり団体における活動 など

2 募集人数

20名程度(申込状況により, 人数調整等を実施する場合があります)

3 期間

令和7年8月～令和8年3月頃 ※別紙参照:全体会(ワークショップ等)として, 計5回, 12時間程度の活動を予定

※その他, 必要に応じて, グループ活動(実践含む)を行います。

4 活動内容

「宇都宮にあってほしい取組」の検討・提案や取組の具現化に向けた活動

5 申込方法

別添の「**参加申込書**」により, **7月25日(金)まで**に下記「問い合わせ先」あてに, メールにてお申し込みください。

6 その他

報酬や交通費等の支給はありませんが, 平日の日中に活動する場合がありますので, 参加依頼書を発行させていただきます。(必要に応じ, **市から所属している組織宛て依頼も可**)。

また, 政治活動や宗教活動など, 特定の目的による参加が認められる場合は, 参加をお断りする場合があります。

【問い合わせ先】

宇都宮市 総合政策部 政策審議室 共創推進室 担当:中山

TEL:028-632-2116 E-mail:u10000501@city.utsunomiya.tochigi.jp